

平群

Heguri

≡議会だより 9月定例会

No.268

平成30年11月1日

発行:奈良県平群町議会

第5回定例会(9月)

議決結果	2
質疑あれこれ	3~5
議員提出議案／同意	5
総務建設委員長報告	6
決算審査特別委員長報告	7~10
町政を問う! 一般質問	11~15
町の話／お知らせ	16



親子で楽しく「ぱくぱく♪クッキング」(プリズムへぐりにて)

第5回定例会 こんなことが決まりました



第5回定例会は9月4日～20日まで17日間の会期で開かれました。

初日は、町長提出の22案件が上程され審議しました。このうち、11案件は即決し、財産価格審議会条例の制定議案は総務建設委員会に付託して6日に審議。

昨年度一般会計・特別会計・水道事業会計各決算の認定については決算審査特別委員会を設置して7日と10日に審議しました。

一般質問は13、14日に行い、9名の議員が様々な町政課題について質問・提言しました。

最終日は、総務建設委員会と決算審査特別委員会の審査結果報告をうけ採決。議員発議の意見書1件を審議・採決しました。

議決結果賛否一覧

○賛成 ●反対（議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します）

提出区分	議案名	議決結果	山本隆史	城内敏之	井戸太郎	稲月敏子	植田いずみ	山口昌亮	山田仁樹	高幣幸生	窪和子	下中一郎	馬本隆夫	森田勝
町 長 提 出 議 案	専決処分の承認を求めることについて（平成30年度平群町一般会計補正予算（第3号）について）	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加わりません
	専決処分の承認を求めることについて（平成30年度平群町一般会計補正予算（第4号）について）	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町財産価格審議会条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町税条例等の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	
	平成30年度平群町一般会計補正予算（第5号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成30年度平群町下水道事業特別会計補正予算（第1号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成30年度平群町介護保険特別会計補正予算（第1号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成30年度平群町同報系防災行政無線デジタル化整備事業の請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	（仮称）平群町文化センター・図書館建設工事の請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	教育委員会委員の任命に同意を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	人権擁護委員候補者の推選につき意見を求めることについて	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	人権擁護委員候補者の推選につき意見を求めることについて	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成29年度平群町一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	
	平成29年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別													

質疑あれこれ

9月議会に上程された議案及び
質疑を紹介します。

専決処分 平成30年度 一般会計補正予算(3号)

7月豪雨による災害復旧の予算措置で、7月9日での専決処分。復旧箇所は、信貴畑集落センター法面、総合スポーツセンター土砂撤去等、福貴地区バラ園の定置配管設備の土砂撤去等で、予算総額は3029万7千円。財源は、県補助金805万4千円、災害共済金1488万7千円、受益者分担金15万9千円、一般財源(財政調整基金繰入金)719万7千円となっています。

専決処分 平成30年度 一般会計補正予算(4号)

7月豪雨による災害復旧の予算措置で、8月10日での専決処分。農地災害及び農業用施設災害の復旧にかかる測量設計委託料538万3千円の予算措置。財源は、受益者負担金377万9千円、一般財源(財政調整基金繰入金)160万4千円となっています。

町税条例の一部改正

平成30年度の地方税法等の一部を改正する法律等の交付に伴うもので、以下の改正が行われます。

・個人住民税(2021年1月1日施行)

①給与所得控除・公的年金控除を10万円減額し、基礎控除を10万円増額(33↓43万円)。

②給与所得控除の上限となる給与収入を1000万円から850万円に引き下げ、その上限額を220万円から195万円(①の10万円含む)に引き下げる。

③公的年金等控除の見直し:新たに収入額が1000万円を超える場合、195・5万円(①の10万円含む)の上限を設ける。公的年金等以外の所得が1千万超2千万以下の控除額を10万円減額、2千万超なら20万円減額に。

④基礎控除の見直し:通常43万円になる基礎控除を合計所得金額2400万円超の納税義務者について通減・消失の仕組みを設ける。2450万円以下は29万円、2500万円以下は15万円、2500万円以上控除なし。

・たばこ税

①税率の段階的引き上げ:今年から4年かけて1本あたり3円引き上げるもので、今年10月、2020年10月、2021年10月にそれぞれ段階的に1円ずつ引き上げるもの。旧三級品たばこの激変緩和の経過措置の終了を2019年3月末から9月末に延期。



②加熱式たばこの課税方式の見直し:パイプたばこの区分から製造たばこに加熱式たばこの区分を設け、課税方式が5年間かけて変更されます。

主な質疑

質問

給与所得控除の上限の給与収入を1000万円から850万円に引き下げ、上限額も減額になることによる増税額の説明を。

答弁

給与収入850万円は変化なし

歳入の主なものは、前記の国庫補助のほか、前年度繰越金1億9964万2千円と借金3730万円を新たに計上。地方交付税9683万円（普通交付税9460万6千円、臨時財政対策債222万4千円）、減収補てん特例交付金373万2千円などを増額するもの。

今回の補正による歳入超過分は、未確定財源を1億7900万円減額し、1億1256万9千円を財政調整基金に積み立てて収支の均衡をはかるもの。

主な質疑

質問 中学校のエアコン設置

について、国や県から支援の知らせはきているのか。

答弁 国の財政支援強化策、

県の支援がどうなるか、現段階では未定。

質問 今回、中学校のエアコ

ン設計費が盛り込まれ、南小学校は当初予算で盛り込まれている。来年6月までの設置を進めていただきたい。

答弁 南小学校については、

10月頃に設計を終え、12月議会

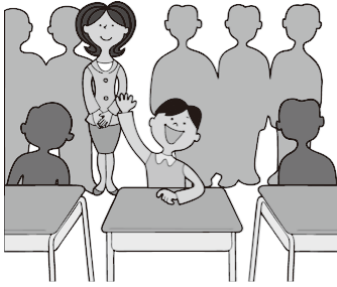
に補正予算を計上し、春休みや休日に工事して6月末までに設置できたかと考えている。中学校は、3月議会で補正予算を計上し、夏休みまでに設置できたと考えている。

質問 中学校のエアコン設置の教室数は。

答弁 普通教室12、特別支援教室と特別教室で10の22教室。

質問 7月の猛暑の中、道の駅のエアコンが全面的にストップしたと聞いているが、その原因と設置の時期は。

答弁 7月末に故障し、すぐに予算措置をし業者に発注したが、猛暑で業務用の製造が追いついていないということで、10月中旬になる。



質問 今年度の収支について、6月補正後のシミュレーションでは実質単年度収支1億5800万円の黒字となっている。今回の補正で臨時財政対策債も含めた普通交付税は9683万円増えた。これを加味すれば2億5千万円の黒字ということになるが、その認識でよいか。

答弁 6月補正後シミュレーションのその後に普通交付税が確定したので、シミュレーションとの乖離はあるが、今の時点では修正していない。

質問 普通交付税が1億円近くも増えた要因はなにか。

答弁 国の地方財政計画では前年度比で2%減との通達があり、それを基本に積算した結果、予算段階では3・7%減で計上したが、実際は前年度比1・2%増となった。その要因としては、75歳以上の人口増、こども園

同報系防災行政無線デジタル化整備事業の請負契約の締結

公募型プロポーザル方式の随意契約。契約金額2億1492万円。(株)日立国際電気西日本支社(大阪市中央区)。

(仮称)平群町文化センター・図書館建設工事の請負契約の締結

一般競争入札。契約金額14億7312万円。村本建設(株)奈良本店(広陵町)。

主な質疑

質問 元々予定していた金額はいくらか。

答弁 今年の当初予算では総事業費27億3300万円で建設工事費は16億円と説明した。実施設計は15億9300万円になり、入札の結果、最低制限価格より若干高い金額での落札となった。



議員提出議案

自治体臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める意見書(案) (否決)

提出者 稲月 敏子
賛成者 植田いずみ
山口 昌亮

同意

高木敦子氏を教育委員会委員に選任することを全会一致で同意しました。



高木 敦子 氏
住所 平群町若葉台

教育委員会委員

議会の動き

議会運営委員会 8月22日
※平成30年平群町議会第5回定例会の議会運営について

公共交通対策特別委員会 6月25日
※コミュニティバス運行事業の報告及び計画について

全員協議会 6月27日
※平群駅周辺整備事業における町有地の換地シミュレーションについて

総務建設委員会 9月6日
※執行後における政策評価について

文教厚生委員会
9月6日
※執行後における政策評価について



ご意見お寄せください

本紙へご意見をお寄せください。今後の紙面作りに活用させていただきます。

*FAX 49-0145

*メール

gikai@town.heguri.nara.jp

総務建設委員長報告

令和6年6月5日に開催された平群町議会第5回定例会の本会議において、総務建設委員会に付託を受けた、議案第39号 平群町財産価格審議会条例の制定について、9月6日に当委員会を開催して審査しました。その審査内容と審査結果をご報告します。

議案第39号 平群町財産価格審議会条例の制定について

この条例は、本町の財源確保のため、使用目的のない普通財産を売却処分するにあたり、その処分に関する適正な価格を評定するため、平群町普通財産売却に関する事務取扱要綱第3条第2項の規定による町長の附属機関として、平群町財産価格審議会の設置に関し、必要な事項を規定するため制定するものです。

主な質疑

質問 審議会設置目的は。

答弁 現在、公有財産の売却

の手法は、一般競争入札によりネットオークションを活用している。現在4物件の最低売却価格は不動産鑑定評価額をもとに決定しているが売却が難しい現状である。

売却土地の近隣の売却状況を見ると、鑑定評価額との乖離があることから、町が勝手に売却するということではなく、一定のルールのもとで売却が必要のため、財産価格審議会の答申に基づく価格を参考に売却価格を決定し、慎重に売却していきたいという観点から、本審議会条例の設置を行うものである。

審議会委員は、弁護士、不動産鑑定士、税理士、町職員2名の計5人で、地方自治法第138条の4の第3項の規定に基づく条例を制定し、要綱として事務取扱のルールを定めている。

質問 民間の不動産価格と鑑定価格との乖離についてはどのように考えているか。

答弁 民間不動産などの専門的な意見も聞きながら、売却価格についての妥当性も含め情報

を入手し、審議会に諮問していきたい。少なくとも固定資産評価額（公示価格の7割評価）以下とは考えていない。しかし、それでも全く売却できない場合は、市場性に劣るということでも売却ではなく、他の利活用も考えなければならぬと考える。また、要綱第3条の1号から4号の項目で、当該年度の固定資産税評価額、近隣土地の取引事例価格、公示価格、地価調査価格、また国有財産評価基準に照らし、価格決定の参考となる目安を定めており、固定資産評価額を下げるようなことはしない。

質問 売却できる物件は何件で、どのような状況か。

答弁 現在4物件についてインターネット公売を実施しているが、物件の中には、地籍更正及び分筆登記を必要とする土地も存在するので、随時整理をしながら売却していきたい。現在、若葉台ゲートボール場跡地については、2筆存在し、法面部分の売却を諦めて、ほぼ平地部分について公売中である。物件としては、旧西小学校跡地、旧南保育園跡地を含み45物件把握しており、詳細等については現在調査中である。

質問

平群町の行政財産は42万坪あり5年以上保有している土地は、普通財産並びに行政財産の仕分けを行い、普通財産の土地を売却することで、人口増による土地活用につながるとともに、歳入増や維持管理費用の削減と固定資産税増

平成29年度 決算審査特別委員長報告

一般会計

《歳出全般》

質問 当初予算に比べ、決算額は相当改善されたことになるが、その主な要因は。

答弁 歳入部分では29年度の普通交付税が、当初予算時の想定より約1億4000万円多く入ってきた。さらに特別交付税や法人住民税も想定より多くなった。歳出部分では、執行経費について、節減努力し光熱費等で相当の不用額を出すことができた。委託料等についても、町職員ができることは直接行ったり、賃金等でも、結果的に臨時職員賃金等が不要になったことなど、執行努力の結果である。

質問 人件費と物件費が大幅に減額になっているが、その主な要因は。

答弁 人件費では、育児休業が増え、職員の休職もあったこと、退職と新採による給与差で減額された。また、退職手当組合の率が減少したことなどにより、これで約5700万円の減額となった。物件費も、臨時職員賃金の部分が予算と比べ約2000万円減額されている。

《議会費・総務費》

質問 広報は自治会を通じて配布しているため、自治会未加入者には配布されない。行政はすべての住民に配布すべきでは。

答弁 自治会を通じての他に、町内の20力所の公共施設にて配布している。また、自治会を通ずことで地域の方のコミュニケーションにつながるので、高齢化していく現状では重要であると考ええる。ただ、今後の状況をみて配布方法を考えていきたい。

質問 通常は予備費として計上すべきところを流用しているように思うがどう考えているか。

答弁 29年度流用全体件数は228件、合計1億2100万円の流用をしている。年度毎でみると件数は減少している。施設の老朽化などで予期せぬ部分のものが多く、それについては現計予算からまず消化し、それでも足りない部分を予備費にて対応しているのが現状である。

質問 コンビニ交付について、直近で何件利用されているか。

答弁 30年7月末現在で合計110件。内訳として、住民票が49件、印鑑証明が45件、所得課税証明が16件。

質問 定住化促進について、予算より決算が少なくなった理由。

由と、奨励交付金によって税収にどう影響したのか。

答弁 予算に対して90%弱の交付額になり、定住化促進奨励金の交付者は94人で、これらの方からの個人住民税の税収は約1560万円である。

質問 平群町指定の避難所について、北小学校の体育館の収容人数は420人となっているが、この周辺地域は人口増加しており、災害時には収容しきれないのでは。

答弁 避難所は、平群町内に14力所。この20年間で住宅開発が進み、避難所までの距離や収容人数等、課題が出てきている。今後、公共施設だけでは解決できない場合、民間施設の

答弁

29年度の新規採用はしていない。職員の抑制については、当初、定年退職者を対象としていたが、途中退職についても、現段階では第2次行革の対象と考えている。しかしながら、保育教諭等の専門職は別枠と考え、柔軟には対応していきたい。

質問

はなさと、ゆめさところども園の正職員、臨時職員の人数は。

答弁

29年度保育教諭数は、はなさとところども園で正職員は12名、臨時職員は18名、ゆめさところども園で正職員は15名、臨時職員は37名。

質問

学童保育について、平群学童は3つの部屋に、南学童は2つの部屋に分かれており、使い分けなどができる。しかし、北学童は人数が多く全部一緒に使い分け等ができない。雨などでグラウンドが使えない時は、体育館の開放もしてはどうか。

答弁

北学童においては1カ所に集まっている時間帯もあるが学校が終わってから夕方の時間帯はグラウンドを使用するよ

うにしている。体育館については、社会教育の予約等との調整を行い可能な限り使用している。さらに、図書館の利用という工夫もしている。

《衛生費》

質問

不燃物処理委託料が大幅に減っている要因は。

答弁

廃プラスチックの処理量が当初見込みより少なかった上に、処理単価も下がったことが主な要因。

質問

29年度までの4年半で有料ごみ袋の収入から経費を差し引いた額、約5000万円は減量化や資源化にどう使われたのか。

答弁

生ごみの減容器の限度額を上げたり、ごみステーションの設置補助、カラス除けネット購入などに使った。

質問

不妊治療補助金52万円の執行に対する実績、結果は。

答弁

上限は1人あたり5万円、5万円補助の方が8人、5万円以下の方が3人、合計11人分。その内、出産された方が

2人、妊娠された方が5人となっている。

《農林水産業費・商工費》

質問

信貴山観光看板設置について、どの

答弁 年間2〜3人程度入っていたが、同じ2〜3人程度卒業される。広報やポスターで募集をかけているがなかなか増えない状況。

質問 平群町の空き家バンクは機能していないのでは。民間と連携するべきでは。

答弁 現在平群町の空き家バンクの物件登録数は5件。利用されたい方の登録は8件。今年度から、全国空き家バンクにも載る。今は概略しか載せていないので、平面図や部屋割りも載せ利用しやすいものにしていきたい。

質問 空き家バンクを通じての貸し借りや売買の実績は。

答弁 今年度貸し借りは1件、売買は0件。

《教育費》

質問 小中学校のトイレの洋式化が少ししか進んでいないが今後の計画は。

答弁 各小学校中学校とも老朽が著しい状況なので、教室配置場所、使用頻度などを考慮し

て計画的に事業化していきたい。しかし、文部科学省の学校改善交付金の採択が非常に厳しい状況なので、単年毎に実施している状況である。

質問 国民文化祭について、いろいろな効果があったと思うが、今後それをどう生かすのか。

答弁 農業、史跡、パラアイなど紹介し、多くの方に興味を持って頂いた。ただ、大変な金額と人的負担を生じた。そういう意味では、調達部分や人の動きを考える機会になり、大変勉強になった。

質問 総合スポーツセンターグラウンド北のトイレについて洋式化すべきでは。

答弁 要望が多ければ対応していきたいので、利用者にアンケート調査の実施を検討したい。

《歳入全般》

質問 個人住民税について、26年度に調定額が10億円を割り込み、昨年の29年度は9億6000万円まで落ち込んでいる

が、今年度現時点の調定額は。

答弁 30年度現時点での調定額は、9億3200万円。

質問 20年度から29年度までの固定資産税の超過税率での平群町の増収は、9億8000万円。いつまで超過税率を続けるのか。

答弁 財政が健全化すれば元に戻したい。

質問 地方消費税交付金について、来年10%になった場合の平群町の増収は。

答弁 満額交付で6000万円ほど増収と見込んでいる。

質問 地方交付税が予算より1億8500万円増えた理由は。

答弁 平群町の人口減少が激しいことから、人口減少対策費の部分で他の市町村より多くみていただいたと分析している。地財計画では交付率2・2%減であったが、実際は8300万円多い4・4%の増。

質問 土地売り払い収入60

抑えられた。無駄はなかったので賛成する。

流用について25年には428件で29年には228件と少なくなっていることは評価する。職員の方々が日々努力され、執行を抑えるようにされており、決算の中身について大きく反対する理由もないから賛成する。

厳しい財政運営となったが住民にとりて安心、安全なまちづくりに取り組まれた予算執行であることに評価し賛成する。

介護保険 特別会計

反対討論

第6期全体で2億円程度保険料を取り過ぎたことを指摘し、是正を求めた。しかし、町長が拒否



した結果、更に余剰金が増え、3億円もの保険料の取り過ぎにつながった。計画と実績の乖離が明らかになった段階で引き下げすべきなので反対する。

賛成討論

介護保険給付費準備基金も約2億6900万円と、今後の介護保険事業の財政運営は安定した決算となっていることを評価し賛成する。

住宅新築資金等 貸付事業特別会計

下水道事業 特別会計

農業集落排水 事業特別会計

学校給食費 特別会計

奨学資金貸付 事業特別会計

後期高齢者 医療特別会計

水道事業会計

以上、9件の一般会計・特別会計・水道事業会計については認定することに決しました。

国民健康 保険特別会計

反対討論

増税当時もそして、今回の結果が明らかになっても国保税を引き下げしないのは被保険者を冒瀆するもので、町長のこの間の姿勢を厳しく抗議して反対する。



賛成討論

当初の考え方と大きく乖離した。被保険者に対してしっかりと間違いであったことを謝罪して一定の値下げをするべきであったと思うので反対する。

医療費は予測がつかない。もともとの赤字を作っていた原因は予想以上に医療費の抛出が多かった。現状を続けていくべきなので賛成する。

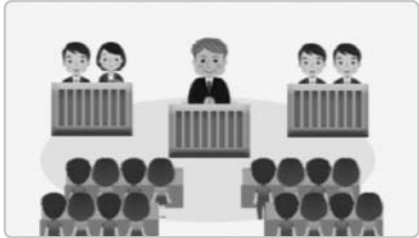
採決の結果、否決すべきものと決定しました。

決算審査特別委員会

委員長 井戸太郎

29年度に保険税が増額された結果、赤字が解消され約3000万円の余剰金となった。また、税率においては県単化を見据えた改正等を評価し賛成する。

町政を問う! 一般質問一覧

井戸 議員	1.企業誘致、流入及び流出の現状について 2.平群町民の移動手段の確保を 3.新たな正職員募集による第2次財政健全化計画への影響について	植田 議員	1.国保税の子どもの均等割り減免制度の創設を 2.こども園運営の充実を
山田 議員	1.平群町主要幹線・国道168号及び県道椿井王寺線について 2.コミバスの経費節減と利便性向上について	城内 議員	1.県域水道一体化について 2.「地方創生」についての提案
下中 議員	1.文化財の保全と活用について 2.恋まち・育まち・へぐりっち事業について 3.広域連携事業の推進を	窪 議員	1.平群町地域防災計画の見直しを含めた「業務継続計画（BCP）」の早期策定を 2.危険な民間ブロック塀の撤去改修に補助制度の創設と相談窓口の設置を 3.「ヘルプマーク」と「たすけてカード」の配布による普及啓発を
稲月 議員	1.豪雨災害による被害と教訓、今後の課題 2.延長保育料の見直しについて 3.駅舎近くにシニアカー置き場の設置を	山口 議員	1.町作成資料の取り扱いについて 2.住民の暮らしを応援する財政健全化施策を
馬本 議員	1.町内のため池等管理について 2.管理職の勤務実態について 3.平群町災害時職員初動マニュアルについて 4.平群駅西特定土地区画整理事業について 5.公共交通空白地域解消へ		

平群町民の移動手段の確保を

質問



井戸 太郎

平群町内にどんなにいい施設ができて、そこにいけないければ「無い」と同じ。すでに動けない移動手段のない人が増えている。自治会館まで行けない。選挙に行けない。買い物に行けない。病院に行けない。バス停まで遠くて行けない。などなど。

現状については、今年の6月議会の一般質問で取り上げた。住民が「本当に困っている」ことをご理解いただいたはず。若葉台、ローズタウン若葉台、椿



台、緑ヶ丘、菊美台など。これらの地域の交通手段について、過去及び今後の平群町の計画は。

①過去10年の「コミュニティバス導入以外の改善

答弁

①「コミュニティバスを中心に運行しており、それ以外改善はない。

②把握はしてないが、移動が困難な方の移動手段の確保が必要であるというのは認識している。

③今後も公共交通について議論していきたい。

コミバスの経費節減と 利便性向上について

質問



山田 仁樹

白ナンバー、無料町内全域運行を提案します。

27年3月・9月議会でも提案しました。本町は、コミバス3台運行で約3千万円必要でしたが、白ナンバー運行にすれば全てで3台計1千8百万円で済みます。

27年当時『今後の検討課題、27年度に事業検証をおこない、実績を見ながら提案について検討した



い』この答弁でした。

①白ナンバー無料バス方式を取り入れられない理由をご説明頂きたい。

今後も高齢化が進み独居高齢者もより増えていくことが予測される中、買物や医療機関への公共交通を利用する需要が増えていくと思われます。

例えば竜田川地域の大型店舗では、組合員の高齢者等に御買上げ商品の無料配達サービスも行われています。コミバスを利用し、負担なく手ぶらで帰る事も可能です。

②現在の運行形態を継続するなら、北部の方も路線バスを利用しコミバスの乗り継ぎが便利なモデル時刻表を作成し、コミバスがより利用頂けるように考えるべきでは？

答弁

①検討課題となった場合議論を重ねて参りたい。

②路線バスの乗り継ぎ時刻表作成は検討したい。

文化財の保全と活用について

質問



下中 一郎

本町には、国宝を含む国・県・町指定の文化財が39件あり、指定文化財以外にも、多くの文化財、歴史遺産があります。今後、これらの遺産を次世代に引き継ぎ、保護、保全していくには、関係団体とともに、地域住民が力を合わせていかなければなりません。

この貴重な文化財を守っていくためには、さらなる文化財指定も必要です。第5次総合計画の目標値は45件となっている



が、新規指定の予定はどのようなになっているのか。単に目標値の数合せではなく、歴史的な価値により指定も変ると考えられるので、慎重な指定審査をお願いします。

答弁

発掘調査の結果、室町・戦国時代の山城遺跡と裏付けられた椿井城跡を町指定の候補

駅舎近くにシニアカー 置き場の設置を



高齢者による車の事故が増える昨今、不安を抱える住民が増えています。運転免許返納を勧める警察や自治体の動きに応じ、返納する住民も増加。

質問



稲月 敏子

外出の足として、バッテリー使用のシニアカーを利用する高齢者が増えています。高齢者が元気で行動できるように配慮することは重要な課題です。公共交通の充実はもちろんですが、歩くことが困難な高齢者が少しでも楽にシニアカーを駐輪し、電車に乗りできるように改札口にできるだけ近距離の専用駐輪場を設置することを求めます。

平群駅では元タクシー乗り場に設置することが望ましいと考えますがいかがでしょうか。

答弁

提案の平群駅舎前元タクシー乗り場にシニアカー専用駐輪場設置については適切だと考えます。地権者の近鉄と賃貸借の協議をしており、次年度の設置に向け推進しています。

平群町災害時 職員初動マニュアルについて

質問



馬本 隆夫

今年6月の「大阪北部地震」を初め7月の豪雨、8月・9月に台風が到来、町は警戒対策本部を設置、避難所を開設し数十名が避難また、町道、農地等の被害約数十件が発生しました。

町に「平群町災害時職員初動マニュアル」が作成されています。風水害の予想は天気予報等により防災準備は出来ませんが、地震予測は出来ません。職員初動マニュアルについてお聞きします。



①全職員（臨職も含む）約350名を参集出来るようになっていますが、臨職も対象ですか。

②参集は義務か任意か。
③H29年度の参集回数と参集動員の出席率は。

④全職員（臨職も含む）の町内と町外の人数は。

⑤過去に全職員対象の初動マニュアル訓練を行ったのか、また、今後の予定は。

答弁

①災害動員となっているが、雇用契約書には明記が無い。

②職務命令となり義務。

③4回で率は90.2%。

④町内162人（正職83人・臨職79人）、町外193人（正職10

こども園運営の充実を



現在、こども園では、保育士確保が出来ず、受け入れが出来ない状況がはなさと0歳児で2名、ゆめさと1歳児で2名などとなつています。この間、任期付き職員などの募集をしても不安定な雇用形態では確保が難しい状況です。保育ニーズも増える中、待機児童も出ていま

質問



植田 いずみ

す。29年度末で2名の正職の定年退職がありながら、正規の募集を行いませんでした。また、ゆめさと1歳児2クラスは、職員配置が基準に満たない状況です。

子ども達に安心・安全な保育を提供できるよう来年4月からの正規職員の募集を前倒しするなど早急な改善をするともに、人材確保は正規職員で行うよう求めます。

答弁

配置基準に満たないクラスについては、子どもの出席人数に応じて、応援の職員が入り対応をしている。保育教諭の確保については、任期付き職員の確保を引き続き行なっており、正職確保については現在の計画どおり、来年度からの対応と考えている。また保育教諭等の専門職の人材確保は、第2次健全化計画とは別枠で正職も含め対応していきたい。

県域水道一体化について



城内 敏之

質問

①計画が、順調にゆけば、2026年ごろには、経営統合とのことであったその後の進捗は?

②2024年ごろには、料金値上げの話があったが、一体化が具体化したら、その動きとの兼ね合いは?

③国の「水道法改正案」と、一体化への取り組みとの関係性は?

答弁

①今年度は、県域水道一体化検討会が設置、さら



に実務クラスによる施設管理部会、総務財政部会が設置された。

来年度以降、各首長をメンバーとする協議会が任意に開かれ、2020年度中に、一体化の覚書が締結される予定。

②2014年度に水道事業ビジョンを策定し、2024年ごろの料金値上げを計画した。その後2017年に県水一体化の話が出た。統一の時期が近すぎるので値上げの時期を大きく変更せざるを得ない可能性が生じた。

③今回の一体化に関しては、水道法改正案の考え方に概ね一致すると認識している。

民間ブロック塀の撤去等に 補助制度の創設を



6月に発生した大阪北部地震の影響で、ブロック塀が倒壊し、女子児童が犠牲となる痛ましい事態が起きたことを受け、本町においても学校施設や通学路の緊急点検を行い、平群小学校と平群中学校では危険なブロック塀を撤去し整備されました。しかし、通学路の民間所有のブロック塀では、注意が必要な箇所が複数確

質問



窪 和子

認されております。そこで道路に面した建築物の所有者にもブロック塀の安全点検を呼びかけ、役場に相談できる窓口の設置が必要です。点検の結果、危険性がある場合、撤去や改修を行う所有者に補助制度を創設し促進させるべきではないでしょうか。

答弁

9月号広報やホームページでブロック塀の安全点検の実施を呼びかけました。相談窓口については、役場の都市建設課が住民の問い合わせ窓口として、ホームページ等で早期に周知を行いたい。

そして危険な民間ブロック塀の撤去や改修費用に対する補助制度の創設については、国の交付金を活用できれば実施していく。さらに通学路の交通面・防犯面からも安全確保に取り組んで参りたい。

町作成資料の取り扱いについて

質問



山口 昌亮

町が作成した資料17月下旬に公表された住民説明会資料「町財政の現状と今後の見通しについて」(説明会は9月1日実施)の取り扱いに疑問がある。

①当然、著作権・著作権は町にあると考えるがどうか。

②資料は公のもの。出所を明示して引用・転載は問題ないと考えてるがどうか。

③出所を明示せずに転載する、また、町が公表する前に第三者が転載する行為への見解は。

答弁

①著作権・著作権は町にある。

②出所を明示すれば転載に問題はない。

③町が公表する前の段階で町作成資料を第三者が発表することは好ましくない。

④以後、このようなことがないようにしたい。



町 の 話 題



千光寺・役行者と修験の道である榎原のハイキングコースでは、9月にひまわりが満開に咲き誇り、ハイカー達の心を和ませてくれました。榎原地域資源保全会の9名の男性の皆様が、遊休農地を活用して、種を植え、日頃より草刈りなど維持管理をして頂いております。秋には、コスモスの花が見ごろとなります。

町では“山のぼっけ”花いっぱいサポータークラブ制度を創設し、地域の方と町が協働で進める新しい環境美化への取組みを進めております。現在、榎原地域資源保全会、菊美台クラブ、岸本清掃管理センター、チーム・マザーママ、花つばき、虹グループの6団体が登録され、各地でお花が綺麗に植栽されています。ありがたいです。

町が管理する公園や道路等の緑化及び、町内全域の緑化や環境美化の活動にボランティアとして参画して頂き、町がその活動を支援するため、花や清掃用具等の提供をいたします。2人以上のグループであればボランティアとして登録でき、気楽に無理なく活動して頂けます。

サポータークラブへの登録は、お気軽に都市建設課まで、お問い合わせ下さい。(電話45-2077)

平群の里を、地域の方と町が協働で、花や緑できれいにしませんか? (窪 記)

山のぼっけ花いっぱいサポータークラブ制度

お知らせ

議会報告会を開催します

11月17日(土)午後2時～4時
平群町中央公民館大ホール

ご参加お待ちしております

住民のみなさんに議会の活動状況をより分かりやすくお知らせするために、議会報告会を開催しています。
今年も上記の日程で、9回目の報告会を行います。

報告会の内容は、昨年度決算などの9月定例会の審議内容です。
また、参加のみなさんからの質問に答えるとともに、ご意見を聞きします。
みなさんのご参加をお待ちしています。

編集後記

現在、孫の成長と親の介護の両方を経験させてもらっている。孫の方は、あやすと笑うようになり寝返りも出来るようになった。最近では、こちらの声に呼応して声を上げるようになって来た。日々の成長に癒しと笑いをもらっている。

一方、親の方は昨日まで出来ていたことが出来なくなってきた。不安になると、とにかく携帯に電話が入る。気が付けば、不在着信が10件。折り返し電話を入れ「よし、分かった」と返事をして電話を切っても